

## 令和3年度 一学期終業式式辞(全日)

皆さんおはようございます。今日で令和3年度一学期が終了します。まず初めにこうやって無事に一学期を終了することができたことを喜びたいと思います。同時にこの一学期もみんなで新型コロナウイルスの感染を防げたことに感謝します。みんな本当によく協力してくれました。心から感謝します。暑くなれば、マスクを外したくなるし、流行が長期化すると気も緩み、手洗いやうがいなどもおろそかになりがちですが、今後も一人一人の努力が感染防止につながっていることを自覚し行動してほしいと思います。

それでは今日の話です。一つ目は、「なぜ、ジャングル大帝レオの体は白いのか。」、二つ目は、「魔法の夏休み」です。

みんなは、「ジャングル大帝レオ」は知っていますか。鉄腕アトムと並んで手塚治虫の初期の傑作です。内容は、幼いころ人間に育てられた白いライオンであるレオが、アフリカのジャングルに戻り、野蛮な弱肉強食を嫌い、知恵と勇気、人間界で学んだことを駆使して動物たちをまとめ、人間と戦い、弱い動物たちを守る動物大国をつくるとともに立派なジャングルの王者として成長していくという物語です。では、どうしてレオは白いライオンとして描かれているのか。普通は、この白い体色というのは生存に不利なはずで、獲物を取るときもアフリカの草原では目立ちすぎ獲物にすぐに気づかれ逃げられてしまうし、また、珍しいからハンターからも狙われやすい。事実、レオの父親である白いライオンのパンジャはハンターから殺されています。つまり、動物の形や色には、その環境に適応するように意味があり、通常と異なる特徴を持つものは淘汰されるはずなのです。このように生物の誇張された形質は生存に関して大きなハンディキャップになるのです。これは白い体色に限らず、例えば雄のクジャクの羽飾りや雄のシカの大きな角も同じことが言えます。確かに立派な羽飾りや角は、雌には受けが良いのかもしれませんが、天敵に捕まりやすいし、相当なエネルギーの浪費になり、生き残れない可能性が極めて高い特徴です。この矛盾した誇張された形質は多くの進化学者を悩ませてきましたが、1975年にある理論が提唱されました。それはハンディキャップ理論といわれるもので、生存に不利な形質を持っているにもかかわらずその他と同じように生きている。もしハンディキャップがなければ、他の個体に比べ数段高い能力を持っているはずで、ハンディキャップそのものが優れた個体である証明となるのです。ここにジャングル大帝レオの体が白い理由があります。すなわちハンディキャップを抱えながらも、知恵と勇気で仲間たちをまとめ、導いてゆくリーダー性をあらわしているのです。

戦国時代の武将の鎧兜も同様なことが言えるのだと思います。必要以上に華美で重い鎧兜は、戦いには邪魔で、さらにどこにいるのか一目瞭然、当然敵は大將首を狙ってくるので危険極まりない。決して威張りたいたいわけでもなく、かっこをつけたいわけでもなく、自ら危険に身をさらしながらもそれでも平然としていることが、味方の勇気を奮い立たせることにつながるのです。われわれも是非こうありたいものです。

夏休みから体育大会の準備が始まると思います。各ブロックのリーダーはただ単に目立つだけではなく、その内面にひめた実力をいかんなく発揮し、各集団のために人一倍尽力し、ブロックをまとめ、素晴らしい体育大会にしてほしいと思います。

いよいよ明日から夏休みです。3年生は、自らの希望進路に向けてただひたすら頑張る。一生分頑張ったと思えるぐらい頑張る。2年生は自分の将来を見つめながらも部活動でも学校行事でも自分たちが中心となって中央高校を引っ張っていくという自覚を持つこと。そして1年生は一日も早く中央生としての自覚を持ち、主体的に勉強や部活動に取り組むこと。一カ月余りの夏休みですが、君たちぐらいの年頃だとこの一カ月余りで、まるで魔法にでもかかったかのように成長することがあります。勉強でも部活動でも家の手伝いでもいいのでこれだけはやり遂げるという目標をもって過ごしてみてください。そうすればきっと今までとは違う特別な夏休みすなわち魔法の夏休みとなるはずで、

それではコロナ対策を継続し、事故等に十分気を付けて2学期の始業式に一段と成長した元気な顔を見せてください。